

リアルタイムOS HI7000/4, HI7700/4, およびHI7750/4 ご使用上のお願い

以下リアルタイムOS製品の、共有スタック機能に関する使用上の注意事項を連絡 します。

- SH-1, SH-2, SH2-DSP, SH2AおよびSH2A-FPU用 HI7000/4
- SH-3,SH-3-DSPおよびSH4AL-DSP用 HI7700/4
- SH-4およびSH-4A用 HI7750/4

1. 該当製品

- (1) HI7000/4 V1.00r01 ~ V.2.02 Release 01
- (2) HI7700/4 V1.00r01 ~ V.2.02 Release 00
- (3) HI7750/4 V1.00r01 ~ V.2.02 Release 00

2. 内容

共有スタック機能を利用して他のタスクとスタックを共有するタスクがあり、このタスクのエントリ関数からリターンすることにより、タスクを終了した場合、本来はext_tskサービスコールを実行した場合と同等の動作となるべきところ、不正なアドレスに分岐する場合があります。

3. 発生条件

共有スタック待ち状態にあったタスクが起動された後、このタスクを終了する際に発生します。なお、共有スタック待ち状態にならずに起動されたタスクを終了する場合は発生しません。

4. 回避策

発生条件に該当するタスクは、ext_tskサービスコールを用いて終了するようにしてください。

5. 恒久対策

V.2の次バージョンで本問題を改修予定です。
V.1については、改修版のリリース予定はありません。

【免責事項】

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.